

令和 7 年度 事業報告

学校法人 K T C 学園

(1) おおぞらメソッドの確立

なりたい大人になるための学校の具現化というテーマに基づき、おおぞらメソッド活用によって、おおぞらしさの深化を目指して取り組んでまいりました。

- ① おおぞらメソッド活用
みらいノートの日常的な活用
みらいノートを活用したコミュニケーションの定着化
- ② みらいノート本質的な活用（全スタッフがメソッド体现者になる）の為の研修実施
- ③ ジブンのキセキ（卒業発表）の全体運営を実施

引き続き、みらいノートを活用した 1on1 コミュニケーションを軸に、おおぞらメソッドの確立を目指してまいります。

(2) センバス教育のメソッド確立(より屋久島らしさを感じられるスクーリングをめざして)

「つながる場所、つなげる場所。なりたい大人になるために。」を旗印に、屋久島というホリスティックの実践に最適な場所で、屋久島の大自然を生かした体験型学習や屋久島センバスビレッジを利用したスクーリングプログラムを組み込み、充実した内容となるよう、取り組んでまいりました。

- ① 体験学習法の理解と実践
- ② 外部講師によるプログラムのブラッシュアップ
定期的な研修参画を予定し、実施により、関心をもって取り組む当事者としての意識改革を行いました。

(3) 教育の質を向上させるために

サポート校であるおおぞら高等学院にて生徒に向けたアンケート調査を実施しています。我々の教育がどのように認知されているのかを示すものとして導入しております。

「背中を押してくれる」「自分に合った提案をしてくれる」という項目に課題が明確になっております。みらいノートを活用したコミュニケーションによって、生徒がどのようなことにチャレンジしたいのかを把握し、コーチングメソッドによって導いていく関わりを意識してまいります。

(4) 学校としての安全管理

生徒やスタッフの安全性を担保するため、学校における安全管理の具体策を計画し、実施して図っております。

- ① 危機管理マニュアルの策定と実施
- ② 自死やいじめへの対応
メンタルケアも含めた体制作り、専門家との連携
- ③ スタッフの心身のコンディション確認と環境整備
メンタルクリニックと連携